

1. これまでのPI活動に対するご意見、ご質問

① PI活動の目的・意義について

○PI委員会、PI実行委員会はどのような立場の人で構成されているのですか。また、いつ設置されたのですか。

●PI委員会の構成

	職業、役職等
委員長	金沢大学工学部土木建設工学科 教授
委員	富山大学経済学部 助教授
委員	株式会社コミュニケーション科学研究所 取締役
委員	財団法人北陸経済研究所 主任研究員
委員	社団法人 富山県バス協会
委員	社団法人富山県トラック協会 専務理事
委員	特別認可法人富山県商工会連合会 専務理事
委員	社団法人富山青年会議所 2002年度理事長
委員	大沢野町自治会連合会 会長

PI委員会は平成13年3月に組織された中立の第三者機関であり、金沢大学の高山純一先生をはじめとして以下の表に示す委員により構成されています。

また、PI実行委員会はPIを運営していく組織であり、関係行政組織で構成されています。

PI委員会は、PI活動における情報提供の方法や住民からの意見募集の手法について、幅広く意見をいただくことを目的としています。
大沢野道路計画そのもの（ルート位置やインターチェンジ配置）を検討、決定するための会議ではありません。

●PI実行委員会の構成

- ・国土交通省
- ・富山県
- ・大沢野町
- ・富山市
- ・細入村



② PI活動のすすめ方、とりまとめ方法について

○ルート、インターチェンジは最終的にどのように決めるのですか。

○まとめ、公表までのスケジュールを明らかにしてください。

○PI活動は、長時間かけず計画的にスムーズに進めてほしいです。



○国内の財政事情が多難な状況なので、PI活動は時間をかけてじっくりと進めてもよいのではないのでしょうか。

(地域懇談会の運営方法に関する提案)

○地域・地区ごとに懇談会を開いてください。

○地域懇談会は、対象者を女性や若年層に拡げてください。町の将来を担う若年層(20~30歳代)の参加は重要だと思います。

○地域懇談会の代表者の中に、地域のまちづくりに熱心な人を加えてください。

ルート、インターチェンジは、地元と十分な意見交換を行ったうえで、極力多くの方々の賛同を得られる形で、最終的に事業者である国土交通省が決定します。このとき、決定理由及び経緯を十分説明していきます。今の段階ではとりまとめの時期を設定できる状況に無いと考えますが、一日も早く「住民の方々のご意見を反映した道路計画」を作成できればと考えています。

また、次回以降の地域懇談会では、多様な人材の参画を考えており、できる限り柔軟な運営を図れるよう努めて参ります。

※印で示しているように、全く正反対の考え方を示す意見も見受けられました。その人の立場や価値観などにより、様々な意見があげられています。

事業者として、これらの意見を皆さんとともに共有・理解し合いながら、より良い計画を作っていきたいと思っています。

